

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 6月 9日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	31210
政策名 (章)	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします	評価担当課	経済部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 中小企業の育成		産業振興課
施策名	経営安定化と経営革新の支援	課長名	三沢賢一

1 施策の概要・目的

経営基盤の脆弱な中小企業を対象とした経営相談事業や、資金需要に対応するための中小企業融資制度、また各種工業団体の共同施設建設や運営の円滑化を促進させるために補助金の支給、商工会議所、県商工労働センターと共催での受発注促進事業を実施することにより市内中小企業の経営安定化を図るとともに、優れた研究開発を行う企業を対象とした研究開発補助金の支給や、専門のアドバイザーによる新規創業、新分野進出支援を実施し、経営革新の支援を実施。

2 施策の現状

経営相談事業については、相談件数は増加傾向であり、中小企業融資制度については、資金調達需要は高い状況であるが、希望する企業すべてに融資実行されているわけではない。各種工業団体補助金は運営費を毎年助成し、共同施設については、必要に応じて助成している。受発注促進事業は年1回開催し、研究開発補助金は昨年度2社に対して助成を行い、さがみはら産業創造センターにおいて、新分野進出等の相談等を積極的に行っている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

3,610,945 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

5,862 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **14** 番目です。

(4) 施策に要している人員

1.39 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	預託金における協調倍率達成率 H14年度末融資残高÷平成14年度預託金協調倍率金額×100 $17,472,789 \div (4,646,000 \times 4.5) \times 100$	預託金協調倍率金額における当該年度の融資残高割合により達成度を評価	83.6 % 単位	0 50 100	83.60%	目標年度 H18
			100 % 単位			達成度
指標2			単位	0 50 100	%	目標年度
			単位			達成度
指標3			単位	0 50 100	%	目標年度
			単位			達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

昨今の厳しい経済状況の中、経営改善や資金調達の安定化、受発注の促進等は、中小企業の経営安定化に欠かせないものである。また、新規創業や新分野進出を促進させる優れた研究開発への助成は重要であり、産学連携、新技術開発、マーケティング等の支援については、専門家によるアドバイスが不可欠と考えられる。

6 有効性…期待される効果があがっているか

中小企業融資制度については、銀行、保証協会の審査が行われるため、すべての資金需要に応えられるわけではない。経営相談については、周知、啓蒙によって相談件数の増加が見込まれると考えられる。また、新規創業、新分野進出の支援については、企業側のニーズを把握し、意欲のある企業を発掘したなかで、施策を展開していくことでより事業効果をあげることができると考えられる。

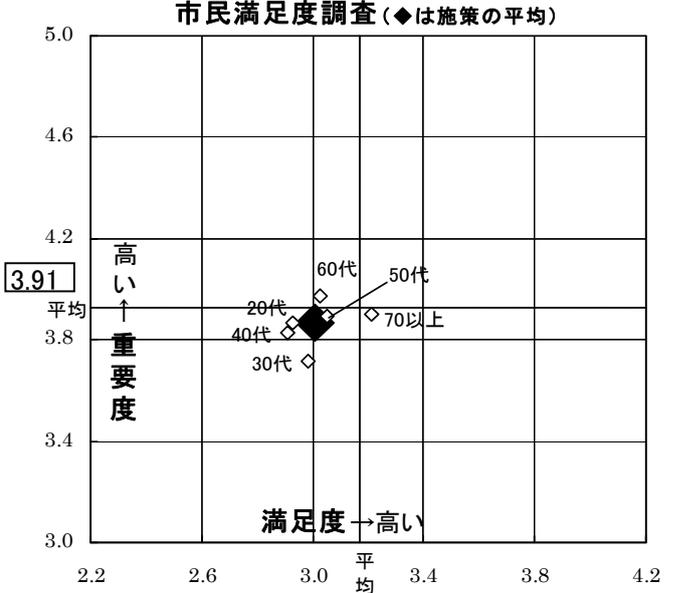
7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

経営相談については、訪問方式の比重を増やすことにより、より大きな効果が得られると思われる。中小企業融資制度については、より多くの融資実行が成されるように預託金を銀行に預託しているほか、企業の負担軽減を図るために利子及び保証料の一部補助を実施しており費用対効果は優れている。また、研究開発補助金、新規創業や新分野進出の支援については、意欲のある市内中小企業を対象とした支援を行っており、費用対効果は優れている。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.008で、調査した51施策の中で44番目です。
- ◆この施策の重要度は、3.867で、調査した51施策の中で27番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.608で、調査した51施策の中で21番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40歳代で最も低くなっています。重要度は60歳代で最も高く、30歳代で最も低くなっています。ただし、満足度及び重要度ともに年齢による大きな差はみられません。



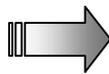
市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

経営相談については、より一層の事業実施の周知、中小企業融資制度については、個々の企業の資金需要に応じた融資の実行が必要である。受発注促進事業については、発注側として参加する企業の拡充が重要となっている。また、研究開発補助金については、今後、企業の研究開発費の高騰が予想され、補助金額の増額が課題となっている。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向	
<input checked="" type="checkbox"/>	拡充する
<input type="checkbox"/>	現状維持する
<input type="checkbox"/>	見直し



説明及び具体的内容

厳しい経済状況のなか、中小企業の資金調達は逼迫しており、その需要に対応するために、融資メニューの新設や、利子補給、信用保証料の補助等、融資制度の拡充が必要となっている。
また、企業にとって、研究開発費の負担は大きいものがあり、今後は1件あたりの補助金額を増額し、事業効果を高める必要がある。

11 2次評価

説明	
<input type="checkbox"/>	A
<input checked="" type="checkbox"/>	B
<input type="checkbox"/>	C

[Blank area for explanation]

12 外部意見

説明

行政としての支援の範囲・方法等を見極め、有効で効率的な施策展開を図る必要がある。

